

琉球水難救済会が海上保安部及び消防機関の「水上事故防止講習」への協力参加（7/6～7/10）

社団法人琉球水難救済会〔会長比嘉榮仁〕では、平成22年7月10日までに中城海上保安部と金武地区消防本部、うるま市消防本部、沖縄市消防本部が合同で実施する金武町立金武小学校、うるま市立城前小学校、沖縄市立泡瀬小学校3校の3年～6年生を対象に行う水上事故防止等を目的とした講習への協力要請を受け、日本ライフセービング協会沖縄県支部の協力を得て、講師及び職員等を派遣して協力参加しました。

因みに、金武小学校は6年生3クラス、城前小学校は3年生2クラス、4年生2クラス、泡瀬小学校は4年生4クラスとなっており、総勢約400人余の生徒が夏休み前に、海等での水流体験及び自己による浮力練習、着衣泳やペットボトル、ライフジャケット活用による浮力体験を行い、生徒達も笑い声と元気な声を張り上げて事故防止を学びました。

また、生徒達は海上保安官の行う救助活動寸劇にも眼を輝かせながら見入っており、楽しい体験学習でした。

〔投稿 社団法人琉球水難救済会〕

各小学校の「水上事故防止講習」の状況

7月6日 金武小学校



準備運動する生徒達



水に親しむ生徒



ライフジャケット着用体験及び説明



ライフジャケット着用による浮力体験



ペットボトル活用による浮力体験

7月9日 城前小学校



水に親しむ生徒達



深さを確認しながら入る生徒達



水の流れを体験する生徒達



ライフジャケット着用



ライフジャケット着用による浮力体験



7月10日 泡瀬小学校



水の流れを体験する生徒達



自己により背浮力を体験する。



ペットボトルの活用による浮力体験をする生徒達。



ライフジャケット着用体験及び浮力体験



ライフジャケットを着用しバディー体験をする生徒達



海上保安官による救助活動の披露状況